



JICA2023年度課題別研修「上水道施設技術総合：水道基本計画設計（A）」（11月10日～12月15日）

本協会がJICA（国際協力機構）から受託している課題別研修「上水道施設技術総合：水道基本計画設計（A）」を11月10日～12月15日までの36日間で実施した。今年度で56回目を迎える本研修は、カンボジア、フィジー、ラオス、モーリタニア、ルワンダの5か国5名の研修員が参加した。



当該国における水道施設や水道事業の運営に指導的役割を果たす技術者を養成することを目的に、厚生労働省・水道事業者・研究機関・民間企業の協力を得て、対話を中心にきめ細やかな講義・視察・演習等を行った。

水道技術者研修会（Aコースオンライン研修：12月4日～15日）

水道事業者及び賛助会員の技術系職員（水道歴概ね3年未満）の方々47名の参加を得て、「水道計画」、「水道基礎工学」、「土木材料及び施工法・水道資材」、「導・送・配水施設」、「水源・取水・貯水施設」、「浄水施設」、「機械・電気・計装設備」、「水質管理」、「給水装置」の科目について12日間の配信期間によりオンライン（オンデマンド配信）研修を実施した。

第266回衛生常設調査委員会（12月12日）

はじめに、本荘谷工務部長より開会の挨拶を行った。

議事に入り、大阪市水道局宮田委員長進行の下、「水質試験方法等調査専門委員会（全体会、各部会、震災等の非常時における水質試験方法改訂検討会）」及び「水道用薬品及び資機材の衛生性調査専門委員会（JWWA K113規格（水道用粉末活性炭）、JWWA K149規格（水道用コンクリート水槽内面FRPライニング材料）、JWWA G112規格（水道用ダクタイル鋳鉄管内面エポキシ樹脂粉体塗装）」の検討状況について報告を行った。



最後に、「JWWA K139規格（水道用ダクタイル鋳鉄管合成樹脂塗料）の改正」に関連する審議を行った。

浄水場等設備技術実務研修会（東京会場第6回：12月12日～15日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々15名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作及び浄水処理について実習するとともに、設備機器の保守・管理の実務について研修を実施した。

第777回抄録委員会（12月13日）

本誌2月号・3月号に掲載する外国文献の抄録内容について審議を行った。



第190回水道 GLP 認定委員会（12月13日）

水道 GLP 認定について審議した結果、徳島市上下水道局（JWWA-GLP142）の認定更新を決定した。

また、浜松市上下水道部（JWWA-GLP050）、釧路市上下水道部（JWWA-GLP052）、株式会社江東微生物研究所（JWWA-GLP098）及び日本環境科学株式会社（JWWA-GLP150）の認定維持、並びにかずさ水道広域連合企業団（JWWA-GLP034）、岡山市水道局（JWWA-GLP035）、公益財団法人島根県環境保健公社（JWWA-GLP036）、甲府市上下水道局（JWWA-GLP079）、内藤環境管理株式会社（JWWA-GLP080）及び公益社団法人分県薬剤師会（JWWA-GLP081）の認定延長を決定した。

配管設計講習会（九州会場第2回：12月13日～15日）

水道事業体及び民間企業等において配管設計の経験が少ない水道技術者の方々50名の参加を得て、「水道の課題と設計業務」、「配管設計・積算の基礎知識」、「製図の基本」、「管路（GX形）の製図演習」、「積算の基本」、「管路（GX形）の積算演習」について研修を実施した。

水道施設耐震技術研修会（東京会場：12月14日～15日）

水道施設の耐震設計業務等に携わる方々87名の参加を得て、「水道施設の耐震化の概要」、「総則、水道施設の地震対策、耐震設計の基本」、「構造物別の耐震計算と性能照査」、「水管橋および水路橋の耐震計算と性能照査」、「水道施設における建築物の耐震計算法、機械電気設備の耐震設計」、「池状構造物」について研修を実施した。

第3回水道施設設計指針改訂特別調査委員会（12月26日）

はじめに、本荘谷工務部長、滝沢委員長から開会挨拶があった。

続いて、滝沢委員長の進行の下、「素案概要」、「今後の予定」について審議し、委員に対し、素案原稿の査読依頼を行った。今後は第4回目の委員会に向け、最終原稿の執筆を行う。



第1021回会誌編集委員会（12月27日）

本誌1・2月号の編集方針、投稿原稿の査読等について審議を行った。

